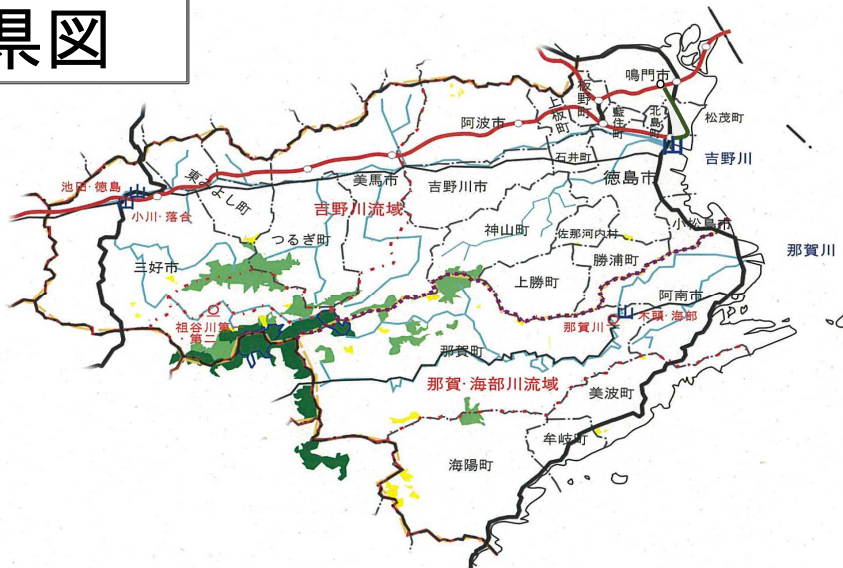


徳島県の森林・林業関係学校 への人材育成支援について



徳島森林管理署 佐藤 ひより
中川 往樹
令和5年1月18日

徳島県図



徳島県は、面積の75%を森林が占め、全国有数の「森林県」であり、その面積は31万5千haです
その森林の60%が人工林で、蓄積量は年々増加し、令和3年には、木材40万8千m³が生産され、令和10年には70万m³の目標を掲げています

令和元年度から
「森林経営管理法」が施行

管理できない森林を市町村が整備

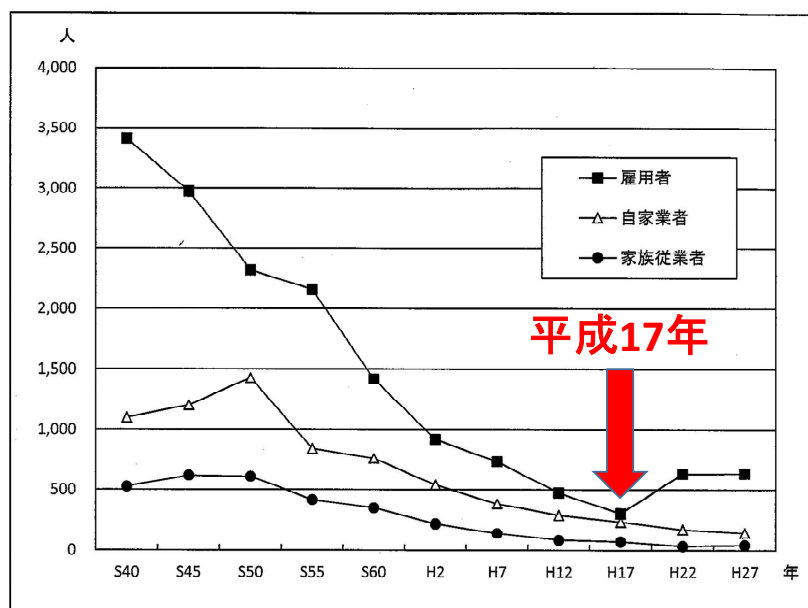
森林整備量の増加

次世代の担い手確保が課題

3

林業就業者数の推移

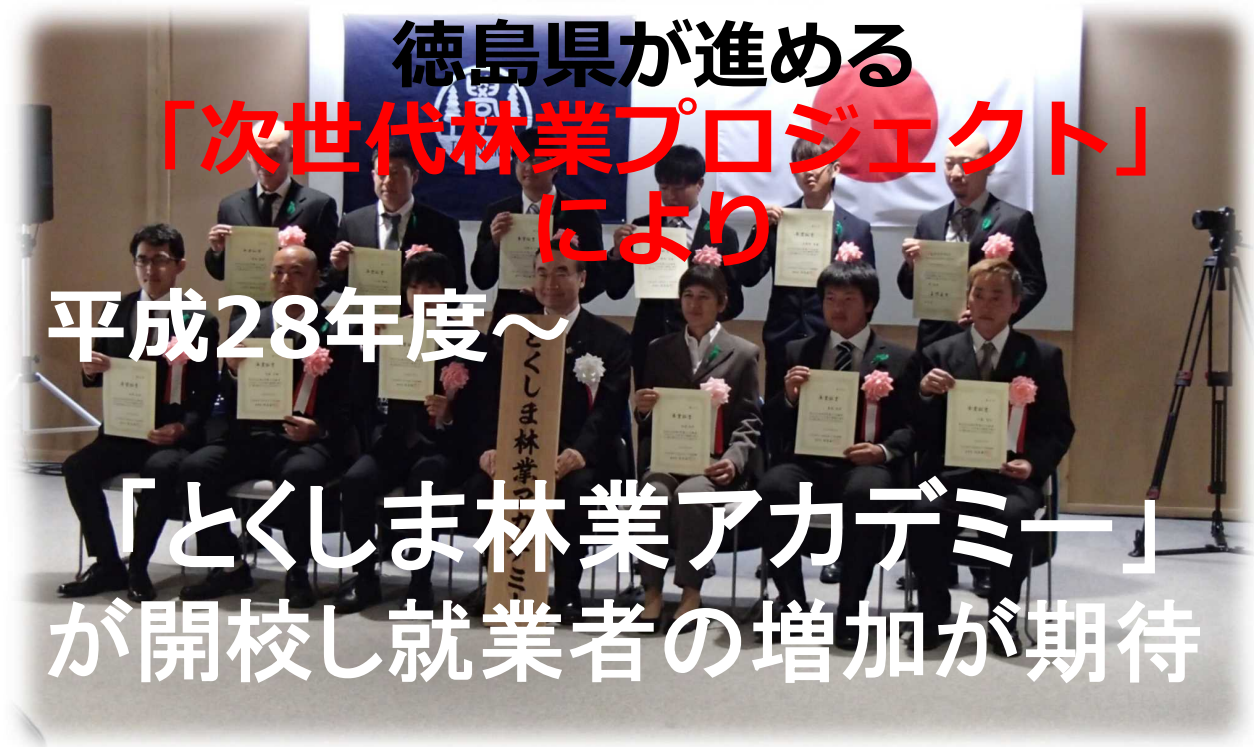
参考資料
「令和3年度 みどりの概要」徳島県発行



昭和35年以降減少していたが、平成17年より増加傾向に
転じ、若手従事者も増え、活気を取り戻している

4

このような背景から、



5

取組を開始

6

開校当初より、徳島森林管理署では 支援方法について協議



講義風景



真剣に聴く学生



アカデミーの学生と記念写真

平成28年7月8日より、従事者育成の講義を開始
とくしま林業アカデミーの第1期生（11名(23～41歳)）
テーマ「森林・林業・木材の現状について」

7

今後の支援について協定を締結



とくしま林業アカデミー入学式



左より 飯泉 徳島県知事
野津山 四国森林管理局長
市瀬 推進機構専務理事

平成30年3月23日に

四国森林管理局と、運営主体の徳島森林づくり

推進機構が 人材育成に関する連携協定を締結

8

高校等への支援

9

県内林業高校への支援

平成28年度より
徳島県立那賀高校
森林クリエイイト科
が新たに創立

従来からの林業学校
徳島県立池田高校
三好校環境資源科



森林環境教育の要請が
徳島森林管理署へ寄せられた

10

那賀高校森林クリエイト科への取組 1年生(20名)



第1回森林環境教育（平成28年9月14日）
「森林の種類について」



第2回森林環境教育（平成28年12月1日）
「森林の多面的機能について」

1年生から3年間の学期毎に1回、森林環境教育を行い、学校で学ぶ専門教科を補完し、林業関係への就業を狙い、森林環境教育を実施

11

ICT等スマート林業化の支援

徳島森林管理署では、平成25年より災害調査等にドローンを導入

現在では、ドローン4機を所有



（池田高校三好校ドローン講習）

令和元年より

ドローンの操縦講義も開始された

12

現在の取組状況

13

令和4年度 徳島森林管理署の**重点施策** の取組みとして

1. 地域の安全・安心を守る山地防災力の強化
2. 生産・造林複数作業契約によるトータルコストの縮減
3. 国有林材2.58万m³を安定供給
4. 現地検討会等による民国連携と林業技術の普及
5. とくしま林業アカデミー、那賀高校森林クリエイト科、池田高校三好校への高校、大学等へ人材育成の支援
6. 地域との協定締結によるシカ被害対策の推進
7. 「祖谷のかずら橋シラクチカズラ資源確保プロジェクト」の推進
8. 「日本美しい森」剣山自然休養林の観光資源としての活用
9. 国産材自給率50%に向けた森林環境教育の推進
10. 徳島森林管理署の取り組みの積極的な情報発信

14

とくしま林業アカデミーへの技術支援



職員によるコンパス測量講義



現地での測量実習



取得データを
PCで図面化します

15

とくしま林業アカデミーの取組動画(コンパス測量)



16

とくしま林業アカデミーへの技術支援



ドローンの操作講習



ドローンの飛行実習



オルソ画を作成



四国森林管理局の一貫作業システム講義

とくしま林業アカデミーへの技術支援



徳島県の情報雑誌「タウトク」で紹介

林業高校の教育支援 (那賀高校森林クリエイト科)



座学講義



森林の働きについて実験



徳島県と協賛しグループ討議



製材工場の見学

19

林業高校の教育支援 (池田高校三好校)



公務員の就職ガイダンス



徳島県と協賛しドローン講義



校庭でドローンの操作講習



生徒が撮影した校舎

20

林業高校の教育支援 (池田高校三好校)



21

インターンシップ等への就業体験支援

目的

四国森林管理局の行政事務に接し、**高い職業意識を育成するとともに、国有林野事業に対する理解を深めるため**行っています

四国森林管理局

[森林管理局へようこそ](#)

[報道・広報](#)

[森林管理局の仕事](#)

[公売・入札情報等](#)

[リンク集](#)

[ホーム](#) > [各種募集事項](#) > [四国森林管理局 インターンシップ](#) > [令和4年度 四国森林管理局インターンシップ \(夏期\)](#)

令和4年度 四国森林管理局インターンシップ (夏期) 募集のお知らせ

四国森林管理局のHPで募集

22

インターンシップの就業体験支援



執務室で業務説明



崩壊地の状況確認



集水井の現地確認



シカわなの捕獲確認

23

インターンシップへの就業体験支援



コンパス測量の補助業務



森林資源の調査



保育所での森林環境教育

インターンシップ生の感想
・ 林業関係の仕事に携わりたい
・ 公務員の仕事をしてみたい
などの感想があり、
四国森林管理局では、H27年
からの体験者2名が採用

24

今後の課題

25

木材生産量増産のため さらなる人材が必要



とくしま林業アカデミーでは
開校以来**104名が就業**



来年度は定員30名に
拡大し募集

26

講義の質の向上と、内容の充実



研修生と打合せ



関係者との事前打合せ

研修生や関係者と打合せを重ね、
内容の充実、効率化を検討

27

また、林業高校生の林業関係への就職率は、
R1～R3年度 36人で約38%と低い



林業関係のインターンシップ

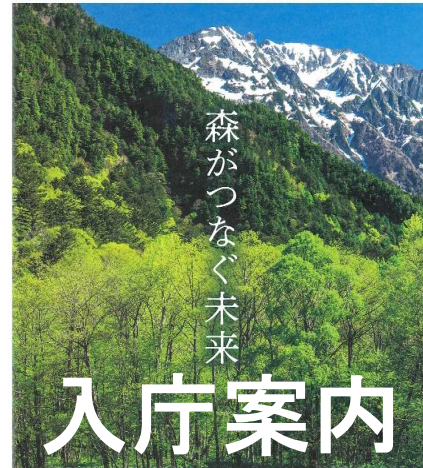


意見交換

インターンシップや講義の機会に、林業
の魅力を、就業につなげるよう発信

28

国有林の理解促進と、就業への期待

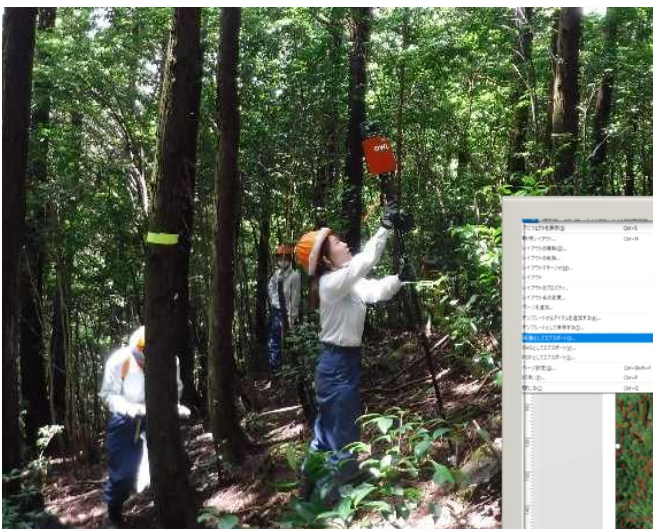


公務員への就職ガイダンス

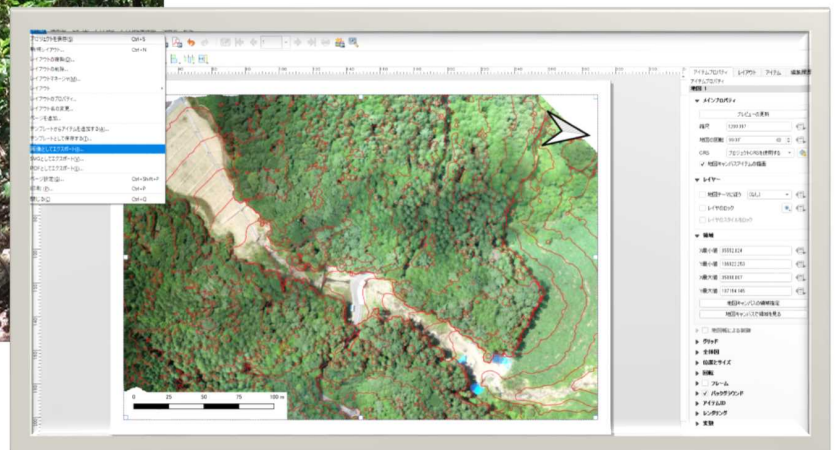
就職ガイダンスにより、令和2年度に池田高校三好校から1名が「四国森林管理局」、令和3年度に那賀高校から初めて「関東森林管理局」へ採用
 今後は、**地域に根ざした職員の採用**に期待²⁹

最先端技術を導入し、森林・林業の

**効率化・省力化の推進
と講師の技能向上**



AWL(アウル)を使った
森林資源調査



Q-GISの活用方法の講習

職員の業務理解と技術の向上

↓
継続した取組

↓
「民有林」と「国有林」が
連携し人材育成に取り組んで
いくことが重要

31

ご清聴
ありがとうございました

32